

宇都宮市の住宅街に行む上野記念館は、学校法人宇都宮学園の創立者・上野安紹氏(1886~1930)の遺徳を偲 び昭和51年(1976)に創設された私立博物館です。同館は栃木県指定文化財を含む2000点あまりを所蔵し、その 中でも栃木県の江戸絵画史を通覧できるコレクションには注目すべきものがあります。たとえば、本県出身の幕府 御用絵師・狩野梅春貞信(梅渓賢直)、画人の小泉斐や高久靄厓、靄厓の師・谷文晁、画才に優れた宇都宮藩主・ 戸田忠翰の作品などがあげられます。さらに、靄厓のパトロンであった豪商・大橋淡雅とその息子・菊泡教中、教 中と交遊した宇都宮藩の家老・『景六石や藤田素堂の絵画作品も有し、さまざまな階層の人々の交流によって文化が 育まれた江戸時代後期の機運をも垣間見ることができます。

このように、豊かなコレクションを誇る上野記念館ですが、建物の老朽化とコロナ禍の影響を受け、令和3年 (2021)に休館となりました。本展は、第Ⅰ期・第Ⅱ期で展示作品を総入れ替えし、同館のコレクションを一堂 にご覧いただくまたとない展覧会です。第Ⅰ期では栃木県の江戸絵画史を語る上で欠かせないメジャーな画人の作 品を展示し、第Ⅱ期では画人たちを支えた豪商や幕末に活躍した藩士たちの画人としての側面を紹介します。さら に関連する館蔵・寄託作品とあわせ、魅力あふれる《とちぎ江戸絵画の底力》をお楽しみいただければ幸いです。

















椿椿山筆 魚楽図 天保7年 (1836)

梅渓賢直筆 龍梅図 江戸時代 (18~19世紀)

戸田忠翰筆 芭蕉に小禽図 享和3年(1803)

高降古筆 納涼図 江戸時代(19世紀)

谷文晁筆 日光二荒山図 江戸時代 (19世紀)

小泉斐筆 鮎図 江戸時代 (19世紀)

菊池教中筆 秋景山水図 嘉永 5 年 (1852)

藤田素堂筆 宇都宮城址観山台図 明治 28 年 (1895)

世界の!栃木の!!コガネムシ~カブトムシだってなかまだよ~ 3月16日(土)~9月23日(月)

" ちらし "も積もれば(宝の!) 山となる~引札が彩る下野の正月~ 4月27日(土)~6月23日(日)

平成通り

巡回展 栃木の遺跡〜最近の発掘調査から〜

4月27日(土)~6月23日(日)





JR宇都宮駅または東武宇都宮駅 から「桜通り経由鶴田駅行」または 「桜通り経由西川田駅行」で「中央公 園博物館前」下車(₹)徒歩8分 「長坂経由新鹿沼行」で「文星芸術 大学附属中高」下車(₹)徒歩8分



上野記念館のあゆみ 会場: 当館エントランス

会場: 当館展示室 2

栃木県立博物館 教育広報課(Tel 028-634-1312)

青景使用画像(いずれも部分図、上野記念館蔵) 表面:県指定 高久靄厓筆 陸陽松島真景図 文政 4 年 (1821)、県指定 高久靄厓筆 孔雀図 文政 4 年 (1821)、椿椿山筆 名花十友図 天保 11 年 (1840) 裏面:椿椿山筆 名花十友図 天保 11 年 (1840)、高隆古筆 高砂百鶴百亀図 江戸時代 (19 世紀)、県六石筆 月次風俗図 江戸〜明治時代 (19 世紀)





記念講演会 要予約 定員:150名 会場:当館講堂 「上野記念館のあゆみと名品」

シンポジウム 要予約 定員:150名 会場:文星芸術大学

「とちぎ江戸絵画の底力」 5月18日(土)午前 ※詳細は決定次第当館HP等でお知らせします。

学芸員とっておき講座 定員:150名 会場:当館講堂

「名品ズラリ!はなやか上野記念館コレクション」 講師:筒井志穂(当館学芸員) 6月16日(日)13:30~ 15:00

学芸員による展示解説 会場: 当館展示室2

5月11日(土)14:00~15:00 6月22日(土)14:00~15:00 ※館内を観覧するので、観覧券が必要です。

文星芸術大学院生によるアート・トーク 会場: 当館展示室2 講師:寺内彩乃氏(文星芸術大学大学院) 5月18日(土)14:30~15:00 ※館内を観覧するので、観覧券が必要です。